

# 環 境 係

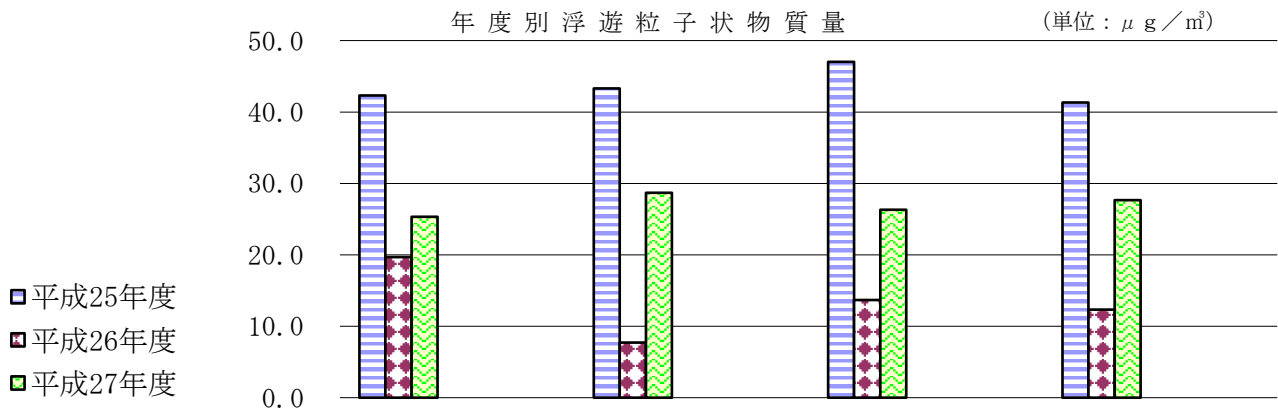
## 1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質質量及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：平成28年2月16日から同月19日まで

調査地点：市内4箇所

### ア 浮遊粒子状物質質量



区分	市役所	武蔵野台児童館	市民会館	第二小学校
平成25年度	42.3	43.3	47.0	41.3
平成26年度	19.7	7.7	13.7	12.3
平成27年度	25.3	28.7	26.3	27.7

### イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

調査地点・年度 調査項目	市役所		武蔵野台児童館		市民会館		第二小学校	
	平成27年度	前年度	平成27年度	前年度	平成27年度	前年度	平成27年度	前年度
鉛	0.005	0.005	0.006	0.004	0.006	0.005	0.006	0.004
マンガン	0.015	0.012	0.017	0.013	0.016	0.013	0.016	0.013
バナジウム	0.002	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001
全クロム	0.002	0.002	0.003	0.002	0.004	0.002	0.003	0.002

※ 数値は、1日平均の3日間平均の量である。

※ 単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$  ( $\mu\text{g}$  (マイクログラム) は100万分の1g)

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：平成28年3月8日、9日

調査事業所数：3事業所（燃料使用量3000ℓ/日以上）

事業所	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(ℓ/日)	イオウ含有量(Wt%)		基準値(W t %)
			平成27年度	前年度	
A	特A	1,000	0.07	0.07	0.8
B	〃	—			
C	A	—			
D	〃	—			
E	〃	—			
F	〃	—			
G	〃	800	0.05	0.08	
H	特A	1,200	0.05	0.04	
I	A	—			
J	〃	—			
K	〃	—			

※ W t % : 質量パーセント、検出下限値0.05

※ 重油施設の廃止等に伴い、3事業所に変更

(3) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

調査日：平成28年3月8日、9日

調査地点：市内12地点

No	調査地点(交差点)	測定値(ppm)		環境基準値
		平成27年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.022	0.022	0.06
2	武蔵野橋南	0.018	0.021	
3	熊川内出	0.017	0.019	
4	第五ゲート前	0.023	0.028	
5	福生志茂南	0.015	0.019	
6	多摩橋北	0.014	0.017	
7	福生駅西	0.017	0.021	
8	福生加美	0.017	0.019	
9	福生加美平	0.015	0.018	
10	福生市役所前	0.015	0.020	
11	武蔵野台北	0.015	0.020	
12	第二ゲート前	0.029	0.037	

※ 数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

地域 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年度合計
区 東部	0	0	0	2	0	0	2	2
区 北部	0	0	0	2	1	0	3	2
区 西部	0	1	0	7	3	0	11	3
区 南部	0	0	0	5	2	0	7	4
多摩北部	0	1	1	7	2	0	11	8
多摩中部	0	1	0	5	2	0	8	5
多摩西部	0	1	0	2	1	0	4	5
多摩南部	0	1	0	2	1	0	4	4
合計	0	5	1	32	12	0	50	33

※ 多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

## 2 水質調査

### (1) 河川及び下水道（雨水管）

pH(水素イオン濃度) …酸性・アルカリ性の度合いの指標

BOD(生物化学的酸素要求量) …微生物に分解されやすい有機物量の目安

SS(浮遊物質量) …1 μm以下のフィルターに残存する成分の量

#### ア 多摩川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	平成27年度	8.6	8.7	8.1	7.6	8.3	8.3	6.5~8.5
	平成26年度	8.5	8.2	8.8	7.8	8.0	8.6	
	平成25年度	8.7	8.0	7.7	8.7	8.0	7.6	
BOD	平成27年度	0.9	0.5	ND	0.5	0.5	0.9	2 mg/ℓ
	平成26年度	0.6	0.8	ND	ND	ND	ND	
	平成25年度	0.6	1.7	0.9	ND	0.8	0.9	
SS	平成27年度	2.0	1.5	1.5	4.0	ND	2.5	25mg/ℓ
	平成26年度	2.5	1.5	2.5	ND	ND	0.5	
	平成25年度	ND	3.5	2.0	ND	ND	1.5	

#### イ 下の川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	平成27年度	7.3	7.7	7.7	7.5	7.8	8.3	6.5~8.5
	平成26年度	7.7	7.6	8.0	7.6	7.6	7.8	
	平成25年度	7.8	7.8	7.1	7.5	7.7	7.5	
BOD	平成27年度	0.6	0.2	ND	0.1	0.4	0.8	2 mg/ℓ
	平成26年度	0.6	0.9	ND	0.1	ND	ND	
	平成25年度	0.4	1.6	1.3	ND	0.7	0.7	
SS	平成27年度	0.6	ND	5.6	ND	10.6	0.6	25mg/ℓ
	平成26年度	1.3	0.6	0.6	ND	ND	ND	
	平成25年度	0.7	2.0	11.3	ND	0.7	6.3	

#### ウ 都市下水路（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	平成27年度	7.3	7.9	7.9	7.5	8.4	8.4	5.8~8.6
	平成26年度	8.4	7.9	8.3	7.7	8.1	7.9	
	平成25年度	8.3	7.8	6.8	8.4	8.2	7.4	
BOD	平成27年度	1.1	ND	ND	ND	0.7	1.5	160mg/ℓ
	平成26年度	0.9	0.6	ND	ND	ND	ND	
	平成25年度	ND	1.2	2.1	ND	0.8	0.7	
SS	平成27年度	ND	ND	ND	ND	ND	3.0	200mg/ℓ
	平成26年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平成25年度	ND	ND	16.0	ND	ND	ND	

#### エ 本町幹線（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	平成27年度	7.7	8.2	7.8	7.3	9.3	8.3	5.8~8.6
	平成26年度	8.9	8.2	9.8	7.7	7.9	8.5	
	平成25年度	9.7	8.3	7.2	8.7	8.5	7.4	
BOD	平成27年度	3.2	0.5	ND	0.7	1.0	0.8	160mg/ℓ
	平成26年度	0.8	1.2	2.3	0.6	0.6	1.4	
	平成25年度	1.1	1.7	1.8	2.4	1.2	0.8	
SS	平成27年度	17.0	ND	3.0	9.0	4.0	3.0	200mg/ℓ
	平成26年度	1.0	4.0	9.0	8.0	2.0	ND	
	平成25年度	4.0	4.0	12.0	2.0	6.0	1.0	

※ 都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ ND：定量下限値未満

※ 平成27年度より、定量下限値未満についてはNDに表記を統一

## (2) 多摩川合同採水

採 水 年 度		平成27年度		平成26年度	
採 水 月 日		6. 4 (木)	11. 5(木)	6. 19 (木)	11. 6(木)
採 水 時 間		午前11時30分		午前11時30分	
流量	m <sup>3</sup> /sec	2. 2	2. 0	5. 6	2. 6
気温	℃	27. 2	22. 8	28. 0	15. 2
水温	℃	21. 0	18. 0	20. 2	16. 8
外観		無色透明	無色透明	無色	無色透明
臭気		無臭	無臭	無臭	無臭
透視度		>100. 0	>100. 0	>100. 0	>100. 0
pH (水素イオン濃度)		8. 8	7. 8	8. 1	8. 8
DO (溶存酸素)	mg/ℓ	10. 6	10. 7	9. 3	13. 6
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/ℓ	1. 0	<0. 5	<0. 5	0. 6
COD (化学的酸素要求量)	mg/ℓ	1. 1	1. 2	1. 1	0. 9
SS (浮遊物質量)	mg/ℓ	2	1	1	<1
T-CN (シアン化合物)	mg/ℓ	不検出	不検出	不検出	不検出
Pb (鉛)	mg/ℓ	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002
NH <sub>4</sub> -N (アンモニア性窒素)	mg/ℓ	0. 01	<0. 01	0. 02	0. 02
T-N (全窒素)	mg/ℓ	0. 95	0. 85	1. 1	0. 83
PO <sub>4</sub> -P (リン酸性リン)	mg/ℓ	0. 005	0. 006	<0. 003	0. 004
T-P (全リン)	mg/ℓ	0. 015	0. 013	0. 012	0. 007
MBAS (陰イオン界面活性剤)	mg/ℓ	<0. 02	<0. 02	<0. 02	<0. 02
ジクロロメタン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
四塩化炭素	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 2-ジクロロエタン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 1-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
トリクロロエチレン	mg/ℓ	<0. 001	<0. 0002	<0. 001	<0. 001
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 3-ジクロロプロペン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
ベンゼン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
チウラム	mg/ℓ	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006
シマジン	mg/ℓ	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003
チオベンカルブ	mg/ℓ	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002
セレン	mg/ℓ	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002
大腸菌群数	MPN/100ml	4900	1700	2400	230
カドミウム	mg/ℓ	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001
六価クロム	mg/ℓ	<0. 01	<0. 01	<0. 01	<0. 01
ヒ素	mg/ℓ	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001
総水銀	mg/ℓ	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005
アルキル水銀	mg/ℓ	不検出	不検出	不検出	不検出
PCB	mg/ℓ	不検出	不検出	不検出	不検出
1, 4-ジオキサン	mg/ℓ	<0. 005	<0. 005	<0. 005	<0. 005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	0. 38	0. 71	0. 91	0. 58
全亜鉛	mg/ℓ	0. 003	<0. 003	0. 005	<0. 003
ノニルフェノール	mg/ℓ	<0. 00006	<0. 00006	<0. 00006	<0. 00006
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/ℓ	0. 0023	<0. 0006	<0. 0006	0. 0009
環 境 基 準		水域類型A		水域類型A	

(3) 地下水

測定日：平成27年9月29日

測定地点		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	基準値
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	4.8	5.6	4.0	4.0	6.5	3.0	3.0	3.1	2.3	4.1	10以下
塩化物イオン	mg/ℓ	3.7	6.9	4.5	4.3	6.8	3.2	2.1	5.0	3.0	4.6	200以下
有機物(TOCの量)	mg/ℓ	0.5	0.4	0.3	0.5	0.3	0.4	1.0	0.3	<0.3	<0.3	3以下
一般細菌	個/mℓ	0	0	3	0	12	3	10	0	0	0	100以下
大腸菌群数		不検出	不検出	検出	検出	不検出	検出	検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと。
鉄	mg/ℓ	0.03	<0.02	<0.02	<0.02	0.03	0.13	0.06	<0.02	<0.02	<0.02	0.3以下
マンガン	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.007	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下
pH(水素イオン濃度)		6.6	6.6	6.6	6.5	6.5	6.6	6.7	6.6	6.6	6.5	5.8～8.6
臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと。
味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと。
色度		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	5度以下
濁度		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	2度以下
トリクロロエチレン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ 平成19年度より過マンガン酸カリウム消費量を有機物と表記する。

※ 地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 工場排水

測定日：平成27年9月30日

単位：mg/ℓ (pHと水温を除く。)

測定地点 検査項目	A工場		B工場		基準値
	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	
pH(水素イオン濃度)	9.1	8.2	—	6.8	5.8～8.6
pH測定時水温	21.2℃	19.8℃	—	28.5℃	40℃以下
BOD(生物学的酸素要求量)	2.1	0.5	—	1.1	160
COD(化学的酸素要求量)	4.0	1.6	—	1.8	160
SS	22	<1	—	6	200
カドミウム及びその化合物	<0.01	<0.01	—	<0.01	0.03
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	—	<0.01	0.1
水銀、アルキル水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	0.005
銅含有量	<0.05	<0.05	—	<0.05	3
亜鉛含有量	<0.05	<0.05	—	0.23	2
溶解性鉄含有量	<0.05	<0.05	—	<0.05	10

※ B工場は平成26年度中に廃止

## (5) 雨水管 (横田基地流入分)

測定日 平成27年7月13日

平成28年3月10日

項目	単位	多摩橋通り		五日市街道		武蔵野幹線		排水基準
		7月	3月	7月	3月	7月	3月	
pH (水素イオン濃度)		7.6	8.1	7.2	8.7	6.7	8.5	5.8-8.6
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/l	0.9	0.9	0.8	1.5	<0.5	1.8	160mg/L
SS (浮遊物質)	mg/l	13	4	19	5	3	3	200mg/L
ノルマルヘキサン抽出物	mg/l	<1	<1	1	<1	<1	<1	30mg/L
フェノール類	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	5mg/L
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	13	6.5	2.4	0.3	4.1	0.3	※
六価クロム	mg/l	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.5mg/L
鉛及びその化合物	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1mg/L
カドミウム及びその化合物	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03mg/L
総水銀化合物	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005mg/L
アンモニア性窒素	mg/l	0.03	<0.01	0.02	<0.01	0.03	0.02	100mg/L
リン酸性リン	mg/l	0.035	0.025	0.053	0.005	0.087	0.003	※
陰イオン界面活性剤	mg/l	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	※
有機リン化合物	mg/l	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1mg/L
有機体炭素	mg/l	1.6	<0.5	1.0	0.6	0.5	2.5	※
セレン及びその化合物	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1mg/L
ヒ素及びその化合物	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1mg/L
全リン	mg/l	0.072	0.036	0.074	0.025	0.095	0.019	16mg/L
シアン化合物	mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1mg/L

※排水基準の設定なし

### 3 騒音調査

#### (1) 自動車交通量・騒音・振動調査

##### ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	平成27年 11月12日12時 ～13日12時	平成27年 11月12日12時 ～13日12時	平成27年 11月12日12時 ～13日12時	平成27年 11月12日12時 ～13日12時	平成27年 11月12日12時 ～13日12時
昼間 上り	20,490	9,180	7,236	4,752	9,270
昼間 下り	22,542	9,360	6,984	3,972	6,912
夜間 上り	4,308	942	1,074	462	1,014
夜間 下り	4,146	1,122	924	420	1,104
合計	51,486	20,604	16,218	9,606	18,300
前年度合計	54,438	21,468	16,338	6,804	17,382

※ 都心方面を上り、逆を下りとする。

##### イ 騒音

(単位：デシベル＝dB)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	平成27年 11月10日～13日 のうち3日間	平成27年 11月10日～13日 のうち3日間	平成27年 11月10日～13日 のうち3日間	平成27年 11月10日～13日 のうち3日間	平成27年 11月10日～13日 のうち3日間	
騒音 (LEQ)	昼間	74	69	69	67	70
	前年度	75	68	69	66	69
	夜間	75	66	66	62	67
	前年度	74	66	66	60	66
環境基準値	昼間	70				
	夜間	65				
要請限度	昼間	75				
	夜間	70				

※ LEQ＝等価騒音レベル

ウ 振 動

(単位：デシベル＝dB)

道 路 通 称		国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測 定 場 所		横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前
用 途 地 域		近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車 線 数		4	4	2	2	2
測 定 日		平成27年 11月12日12時 ～13日12時	平成27年 11月12日12時 ～13日12時	平成27年 11月12日12時 ～13日12時	平成27年 11月12日12時 ～13日12時	平成27年 11月12日12時 ～13日12時
振 動 ( L 1 0 )	昼 間	44	31	28	26	50
	前 年 度	44	31	30	25	50
	夜 間	45	27	27	25	45
	前 年 度	45	27	27	19	46
要 請 限 度	昼 間	70	65	70	65	70
	夜 間	65	60	65	60	65



(2) 自動車騒音面的評価

市内でセンサス区間（自動車の運行に伴う騒音の影響が概ね一定とみなせる区間）に指定されている幹線道路20箇所（1箇所は毎年）の自動車騒音調査を5箇年以内に全て行い評価する。（平成24年度から実施）

環境基準値	昼間	70	※幹線交通を担う道路に近接する空間に関する基準値
	夜間	65	

番号	道路名 (調査場所)	センサス 番号	基準レベル (dB)		残留騒音レベ ル(dB)		達成率(%)		達成戸数(戸)		全戸数 (戸)
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
1	国道16号 (福生市熊川1148-3)	10090	76.1	76.1	43	42	75.0	56.3	480	360	640
2	国道16号 (福生市福生2034-3)	10100	73	72	44	39	78.2	65.5	197	165	252
3	杉並あきる野線 (福生市熊川307)	40450	67	64	39	35	99.7	98.7	311	308	312
4	立川青梅線 (福生市牛浜25)	41440	67	61	40	27	99.7	99.7	649	649	651
5	瑞穂あきる野八王子線 (福生市本町1)	61180	61	53	45	34	100	100	250	250	250
6	国道16号 (福生市熊川45)	10080	55	52	42	35	99.1	98.6	216	215	218
7	立川青梅線 (福生市志茂208)	41370	69	65	40	33	99.9	99.2	750	745	751
8	立川青梅線 (福生市熊川139)	41420	66	61	42	29	100	100	216	216	216
9	瑞穂あきる野八王子線 (福生市志茂229)	61190	65	61	41	31	100	99.7	383	382	383
10	杉並あきる野線 (福生市北田園1丁目 12)	40380-1	66.1	61.1	40	28	99.3	96	691	668	696
		40380-2	64	59	40	28	100	99.6	237	236	237
11	立川青梅線 (福生市熊川204)	41350	69	64	39	32	99.6	99.6	227	227	228
12	立川青梅線 (福生市福生549-1)	41470	65	61	41	28	98.6	98	145	144	147
13	福生青梅線 (福生市武蔵野台1丁目 16)	62650	64	60	40	31	100	100	787	787	787
14	立川青梅線 (福生市熊川711-3)	41360	68.5	64.5	38	36	99.5	99.5	364	364	366
15	立川青梅線 (福生市加美平3-39)	41380-1	64.6	60.6	42	36	100	100	250	250	250
		41380-2	66	62	42	36	99.6	99.6	272	272	273
16	伊奈福生線 (福生市福生656-1)	61120-1	65	61	38	34	100	98.9	189	187	189
		61120-2	66.9	62.9	38	34	100	100	76	76	76
		61120-3	65	61	38	34	99.8	99.5	648	646	649

※網掛けは、測定日時①にて測定

※番号1は優先的対策道路区間として毎年評価を行う。

※5箇年をかけて調査を行い、20箇所全ての調査終了段階において評価が確定するため、達成率、達成戸数、全戸数については途中経過の数値であり、毎年数値が変化する可能性あり。

測定日時① 平成27年11月5日(木) 正午から11月6日(金) 正午まで

測定日時② 平成26年7月2日(水) 正午から7月3日(木) 正午まで(番号2から番号5まで)

測定日時③ 平成25年6月4日(火) 正午から6月5日(水) 正午まで(番号6から番号9まで)

測定日時④ 平成24年6月4日(月) 正午から6月5日(火) 正午まで(番号10から番号13まで)

(3) 航空機騒音調査

ア 測定場所 大字熊川1571番地先 誘導灯付近

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	最高音圧レベル (d B)	時間帯補正等 価騒音レベル (d B)
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	886	720	149	17	120	66
5	703	600	87	16	116	64
6	1,412	1,080	323	9	113	65
7	1,094	845	239	10	115	65
8	735	544	180	11	114	67
9	683	544	126	13	117	64
10	1,314	940	369	5	115	67
11	843	615	166	62	116	65
12	687	541	143	3	114	64
28年1	1,292	957	328	7	117	68
2	1,055	790	260	5	115	64
3	1,191	930	250	11	116	65
合計	11,895	9,106	2,620	169		
前年度合計	11,967	9,423	2,342	202		
月平均	991	759	218	14	116	66

※ d B : デシベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	最高音圧レベル (d B)	時間帯補正等 価騒音レベル (d B)
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	274	198	75	1	87	50
5	166	132	34	0	88	48
6	431	250	181	0	90	53
7	324	194	130	0	88	51
8	136	74	62	0	87	47
9	145	98	44	3	108	59
10	419	247	172	0	89	52
11	155	99	51	5	94	50
12	155	100	55	0	89	47
28年1	388	204	181	3	90	52
2	314	190	121	3	91	52
3	305	205	98	2	90	51
合計	3,212	1,991	1,204	17		
前年度合計	3,388	2,285	1,067	36		
月平均	268	166	100	1	98	52

※ d B : デシベル

## (4) 環境騒音調査 市内29地点 (46箇所)

測定日：平成28年3月24日(木)から同月30日(水)まで【昼間】

No	測定地点		騒音の大きさ (dB)			支配音
	用途地域	道路との関係	等価騒音レベル(LEQ)		環境基準	
			平成27年度	平成26年度		
1	準工業	一般地域	55	47	60	一般音
2	準工業	一般地域	45	46	60	〃
3	第1種住居	沿道	73	71	70	自動車音
	第1種低層	後背地	48	49	55	〃
4	近隣商業	沿道	69	65	70	〃
	近隣商業	後背地	56	56	60	〃
5	第1種低層	一般地域	43	44	55	自然音
6	第1種住居	沿道	69	66	70	自動車音
	第1種低層	後背地	49	48	55	〃
7	近隣商業	沿道	76	74	70	〃
	第1種低層	後背地	54	49	55	〃
8	第2種低層	沿道	64	69	60	〃
	第1種低層	後背地	57	59	55	〃
9	第1種中高層	沿道	66	66	65	〃
	第1種低層	後背地	44	46	55	〃
10	第1種低層	後背地	42	44	55	一般音
	第1種中高層	沿道	65	60	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	68	65	70	〃
	第1種低層	後背地	46	46	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	51	56	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	54	54	60	〃
14	近隣商業	一般地域	43	46	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	50	50	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	76	74	70	〃
	第1種低層	後背地	52	52	55	一般音
17	第1種低層	一般地域	49	43	55	〃
18	近隣商業	沿道	71	68	70	自動車音
	近隣商業	後背地	58	54	60	〃
19	第1種低層	一般地域	51	53	55	〃
20	第2種中高層	沿道	65	63	70	〃
	第1種中高層	後背地	49	50	55	一般音
21	商業	一般地域	64	61	65	自動車音
22A	商業	一般地域	60	61	65	〃
22B	商業	沿道	67	68	70	〃
	第2種低層	後背地	56	54	55	〃
23	第1種中高層	沿道	69	66	60	〃
	第1種低層	後背地	52	52	55	〃
24	準工業	一般地域	49	50	65	一般音
25	近隣商業	沿道	65	64	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	47	44	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	42	49	60	〃
27	工業	沿道	67	65	70	自動車音
	工業	後背地	45	47	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	42	47	60	〃
29	第1種住居	沿道	65	65	70	自動車音
	第1種住居	後背地	47	47	55	〃

※ 後背地の環境基準は、一般地域のものが適用される。

#### 4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	28年1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	5	10
アスベスト相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 質 汚 濁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土 壌 汚 染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
騒 音・振 動	1	0	0	0	0	3	1	0	0	1	1	1	8	18
低 周 波 音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
航空機騒音	12	24	65	19	2	8	16	7	8	15	7	6	189	203
地 盤 沈 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3	7
雑 草	0	2	2	2	3	2	1	1	0	1	0	0	14	21
そ の 他	7	0	2	1	4	7	1	3	0	0	2	0	27	34
合 計	21	27	69	22	9	21	21	11	10	17	11	7	246	294

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	平成 27年度	前年度	区 分	平成 27年度	前年度
工 場 設 置 認 可	1	0	指 定 作 業 場 設 置 届	1	1
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	0
工 場 変 更 認 可	1	1	指 定 作 業 場 氏 名 変 更・承 継 届	1	0
工 場 変 更 認 定	0	0	指 定 作 業 場 廃 止 届	0	0
工 場 氏 名 変 更・承 継 届	4	1	特 定 施 設 設 置 届	0	1
工 場 廃 止 届	0	3	特 定 施 設 変 更 届	0	0
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更・承 継 届	1	0
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	16	17	特 定 建 設 作 業 実 施 届	23	26
建 築 物 の 解 体 に 係 る ア ス ベ ス ト 対 策 に 関 す る 届 出	2	3			

(3) 立入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	平成 27年度	前年度	区 分	平成 27年度	前年度
工 場 認 可 関 係	0	1	苦 情 処 理	145	177
指 定 作 業 場 届 出 関 係	0	0	各 種 測 定	173	171
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	1	1			

## 5 環境行政・環境学習の推進

### (1) 福生環境市民会議等

#### ア 福生地域猫の会

第1回～第12回 平成27年度総会・定例会議・地域猫登録団体連絡会議

第1回～第12回 熊川げんき広場バザー出店・ふっさ桜まつりバザー出店

#### イ かんきょう通信編集会議

環境情報プロジェクト『かんきょう通信』の発行

第38号 3回開催

第39号 3回開催

#### ウ ふっさ花とみどりの会

会議

第1回～第8回 定例会議

#### 活動記録

- 第1回 4/2 多摩川中央公園フラワーゾーン除草
- 第2回 5/13 花いっぱい運動(春)やなぎ通り植栽
- 第3回 5/18 花いっぱい運動(春)国道16号植栽
- 第4回 5/27 菜の花の種取り・チューリップの球根取り
- 第5回 6/7 環境フェスティバル
- 第6回 6/25 視察研修(鎌倉方面)
- 第7回 6/29 多摩川中央公園フラワーゾーン除草
- 第8回 10/5 多摩川中央公園フラワーゾーンコスモス抜き
- 第9回 10/14 多摩川中央公園菜の花の種蒔き・チューリップ球根植え
- 第10回 11/9 多摩川中央公園フラワーゾーン除草
- 第11回 11/11 花いっぱい運動(秋)やなぎ通り植栽
- 第12回 11/18 花いっぱい運動(秋)国道16号植栽
- 第13回 2/3 多摩川中央公園フラワーゾーン除草
- 第14回 3/10 多摩川中央公園フラワーゾーン除草

#### 花いっぱいコンテスト審査関係

- 第1回 7/2 花いっぱいコンテスト(春)1次審査会 書類審査
- 第2回 7/22、7/23 花いっぱいコンテスト(春)2次審査会 現地審査
- 第3回 12/16 花いっぱいコンテスト(秋)1次審査会 書類審査
- 第4回 12/21、12/22 花いっぱいコンテスト(秋)2次審査会 現地審査

#### 花いっぱいコンテスト表彰関係

- 第1回 8/24 花いっぱいコンテスト(春)表彰式
- 第2回 1/21 花いっぱいコンテスト(秋)表彰式

### (2) 福生市環境審議会

- 平成27年 7月24日 ・福生市環境基本計画実行計画進捗状況(平成26年度)について
- ・福生市環境基本計画実行計画(平成27年度)について
- ・福生市環境基本計画第2期中期実施計画について
- 平成27年11月 4日 ・福生市環境基本計画第2期中期実施計画(素案)について
- 平成28年 2月15日 ・福生市環境基本計画第2期中期実施計画(案)について

(3) ふっさ環境フェスティバル

環境問題に対する認識を深め、意識の醸成を図ることを目的に、市民参加型のイベントを開催した。

日時 平成27年6月7日(日) 午前10時～午後3時

場所 多摩川中央公園 げんき広場

内容 学童クラブけん玉ショー、東京農工大学エコレンジャーショー、わくわくほうせい化学実験ショー、けん玉師・伊藤佑介パフォーマンスショー、スタンプラリー、リユース食器使用によるフードブース出展、ダンボール迷路ほか

出展団体(参加団体) 41団体(一般、企業・事業者)

来場者 5,100人

(4) 市民環境大学 “ふっさECOカフェ” 全6回

環境問題の学習を通して、環境リーダーの育成を目指し、環境への負荷が少ない持続可能な暮らし方を考えるきっかけとして、畑での大豆を栽培し、収穫した大豆で豆腐作り等を行う講座を開催した。

第1回	6/27	大豆種まき	(19人)
第2回	7/4	大豆定植	(16人)
第3回	10/3	枝豆収穫	(14人)
第4回	12/1	大豆収穫	(4人)
第5回	12/12	大豆脱穀	(22人)
第6回	1/16	豆腐作り	(21人)
			合計 96人

(5) 水辺の楽校 “多摩川で遊ぼう” 全13回

第1回	4/12	ヨモギ団子を作って食べよう	(26人、13人、9人)
第2回	5/10	多摩川バードウォッチング	(16人、8人、5人)
第3回	6/7	プールのヤゴ救出作戦	(55人、24人、4人)
第4回	6/7	マスのつかみ取り	(100人、0人、19人)
第5回	7/12	多摩川の魚を捕まえよう	(24人、13人、5人)
第6回	8/2	多摩川の河口干潟へ行こう	(15人、5人、5人)
第7回	8/23	いかだで冒険、多摩川で泳ごう	(雨天中止)
第8回	9/13	バッタをゲット	(8人、5人、7人)
第9回	10/11	多摩川の魚を捕まえよう	(雨天中止)
第10回	11/8	多摩川バードウォッチング	(雨天中止)
第11回	12/13	ネイチャークラフト	(13人、9人、10人)
第12回	1/11	川原のゴミ拾い&餅つき大会	(11人、10人、9人)
第13回	2/14	多摩川バードウォッチング	(雨天中止)
			合計 268人、87人、73人

※ ( ) 内の参加人数は子ども、保護者、ボランティアの順で表示

(6) 水辺の楽校 “多摩川サポーターズ” 全4回

第1回	4/12	かくれんぼ広場水辺の秘密基地づくり	(37人)
第2回	7/12	多摩川の水質&水生生物調査	(14人)
第3回	8/23	いかだを作ろう	(雨天中止)
第4回	9/13	かくれんぼ広場水辺の秘密基地づくり	(15人)
			合計 66人

(7) 川の志民館利用者数

利用者数一覧

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
127	27	55	86	90	73	101
11月	12月	28年1月	2月	3月	合計	前年度
32	63	124	56	39	873	946

※開館日数：122日（土・日曜及び小・中学校夏休み期間）

※イベント（水辺の楽校）利用者も含む。

(8) 環境学習教員研修

第1回 8/5 フィールド学習 (14人)

「水質調査、生物調査、川の安全学習」

第2回 8/6 福生の自然の変遷 (9人)

合計 23人

(9) 環境学習講座

市民を対象に、環境意識の醸成を図ることを目的とする全6回の環境学習講座を実施した。

第1回 7/18 開講式、環境学習について（学習目的、学習内容、学習方法など）、

家庭の省エネエキスパー制度について エネルギーの基礎と家庭の

省エネ

(8人)

第2回 8/1 エネルギーの基礎と家庭の省エネ (7人)

第3回 8/29 機器による省エネルギー (7人)

第4回 9/5 機器による省エネルギー (7人)

第5回 9/19 住宅の省エネルギー (5人)

第6回 9/23 エネルギーの基礎と家庭の省エネ (3人)

合計 37人

(10) 地域猫去勢・不妊手術費助成事業

オス	メス	計
31匹	34匹	65匹

6 地球温暖化対策

(1) サイクルシェアリング

実証実験を踏まえ、ガソリン使用自動車からの乗換えによる地球温暖化対策、市内の回遊性の向上等を目的に、平成26年度からサイクルシェアリング事業として実施し、サイクルシェアリングのステーションの名称を「たっけー☆☆サイクルポート」に改めた。また、さらなる利便性の向上を図るため、福祉センター駐車場内にステーションの増設を行い、平成27年度から運用を開始している。

ア 仕組み

(ア) まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさで会員登録

(イ) 利用したいステーションに行き、借りたい自転車を選び、登録カードで鍵とバッテリーを貸出返却ボックスから取り出し、自転車の利用開始

(ウ) 市内5か所あるステーションへ自転車を返却、鍵とバッテリーを貸出返却ボックスへ返却

(エ) 支払は利用月ごとにクレジット決済

イ 貸出返却拠点（たっけー☆☆サイクルポート（たっ☆クルポート））

(ア) くるみる ふっさ たっ☆クルポート（くるみる ふっさ）

- (イ) 福生駅西口たっ☆クルポート（福生駅西口自転車駐車場内）
- (ウ) 牛浜駅東口たっ☆クルポート（牛浜駅東口駅舎下）
- (エ) 拝島駅北口たっ☆クルポート（拝島駅北口自転車駐車場内）
- (オ) 福祉センターたっ☆クルポート（福祉センター駐車場内）

《実績》

会員数		平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	
		550 名	435 名	338 名	
収入	シェアリング利用	221,450 円	207,550 円	134,350 円	
	一時利用	49,900 円	88,000 円	44,350 円	
	合計	271,350 円	295,550 円	178,700 円	
利用回数	くるみるふっさ	貸出	916 回	1,176 回	1,021 回
		返却	941 回	1,113 回	1,053 回
	福生駅西口	貸出	326 回	405 回	366 回
		返却	265 回	425 回	330 回
	牛浜駅東口	貸出	615 回	436 回	348 回
		返却	664 回	507 回	374 回
	拝島駅北口	貸出	594 回	318 回	609 回
		返却	547 回	290 回	587 回
	福祉センター	貸出	563 回	-	-
		返却	597 回	-	-

(2) 電気自動車用急速充電器利用状況

電気自動車用急速充電器を 24 時間一般開放し、地球温暖化対策として電気自動車の普及を目的として運用を図った。

《利用料》 1 回 500 円（最大 30 分）

《実績》

	充電回数	充電電力	利用料金
平成 27 年 4 月	7 回	50.17 kwh	3,500 円
5 月	7 回	55.69 kwh	3,500 円
6 月	1 回	6.19 kwh	500 円
7 月	11 回	131.25 kwh	5,500 円
8 月	3 回	28.28 kwh	1,500 円
9 月	7 回	50.35 kwh	3,500 円
10 月	7 回	66.88 kwh	3,500 円
11 月	7 回	51.53 kwh	3,500 円
12 月	9 回	61.23 kwh	4,500 円
平成 28 年 1 月	12 回	58.06 kwh	6,000 円
2 月	14 回	79.86 kwh	7,000 円
3 月	5 回	36.04 kwh	2,500 円
合 計	90 回	675.53 kwh	45,000 円
平成 26 年度	207 回	1,814.68 kwh	103,500 円

(3) 福生スクラム・マイナス 50%協議会

- 第 1 回 平成 27 年 7 月 8 日
- ・平成 26 年度事業報告及び決算報告
  - ・平成 27 年度事業と予算について

(4) 普及啓発等事業の実施について

- ア ふっさライトダウンキャンペーン 2015 （全 2 回）
- イ みどりのカーテン大作戦 （参加家庭 12 件）



## 7 環境マネジメントシステムの運用

平成20年度から福生市環境マネジメントシステムとして『環境自治体スタンダード (LAS-E)』を運用。平成21年7月にLAS-E第1ステージ合格。平成24年7月LAS-E新規格による第1ステージ第3ステップ合格、平成25年7月に第2ステージ第1ステップに合格、平成26年7月には第2ステージ第2ステップに合格し、事務事業での環境配慮は定着し、環境関連施策・事業における求められるレベルに達しているとの評価を受けた。

平成26年度からはLAS-Eの仕組みを土台として独自の環境マネジメントシステムを構築し、名称を福生市環境マネジメントシステム (Fussa environmental management system: 略称F-e) として運用を開始した。これまでのLAS-E規格に定められた取組項目の整理を行い、効率的、効果的な地球温暖化対策の推進を図った。

### (1) 外部監査

日 程	監 査 対 象	内 容
平成28年1月27日、28日、29日 (環境マネージャーの部署は1月13日に実施した模擬監査を本監査として対応)	57 実行部門のうち抽出19実行部門、推進組織及び事務局	業務における環境面で特に重視している事柄や環境行動推進徹底のための取組について確認

### (2) 推進組織会議等

区 分	開催回数	主 な 議 事 内 容
環境推進委員会	3回	26年度実績の検証と27年度方針、目標設定、27年度取組状況の報告、監査等について
目標設定チーム会議	1回	26年度独自目標の監査と27年度目標の審議について
環境マネージャー会議	2回	26年度実績の検証と27年度目標に向けた具体的取組手法の検討、27年度取組状況の報告、監査等について
監査チーム会議	3回	監査の実施方法の確認、模擬監査、監査結果の振り返り

### (3) 研修活動の実施

研 修 名	日 程	対 象	内 容
新人研修会	平成27年4月2日	平成27年度新規採用職員	環境マネジメントシステム全般及び具体的取組について説明
職員研修会	平成27年8月12日、8月13日の2日(全8回)	職員、嘱託職員、小・中学校教職員、指定管理施設職員	26年度取組の振り返りと監査結果について確認 27年度目標、具体的な取組についてハンドブックを用いて説明
監査直前説明会	平成28年1月20日(2回)	全職員(希望者)	監査の視点や方法、受け方を解説

## 8 外来生物防除事業

特定外来生物であるアライグマ及び外来生物であるハクビシンの市内での生息状況及び被害状況の把握並びにアライグマ、ハクビシンの捕獲防除による自然生態系の保全、農産物被害、感染症被害等を未然に防止することを目的として、市、事業者、市民等関係者の協働により、捕獲、防除等を実施した。

	目撃情報(件)	捕獲防除実績(頭)
アライグマ	2	7
ハクビシン	21	8
不明	0	—

## 9 緑化推進事業

### (1) 草花の苗配布

苗の種類	配布数(株)
サルビア・ペチュニア	16,472
マリーゴールド	18,528
パンジー・ビオラ	30,334
葉ボタン	7,400
合計	72,734

### (2) プランター等植栽事業

植栽地点	内 容
やなぎ通りプランター	(春) ニチニチソウ 880株
	(秋) ビオラ 740株
	(秋) ノースポール 360株
国道16号線ハナミズキ植樹ます	(春) ニチニチソウ 848株
	(秋) ビオラ 560株
	(秋) ノースポール 288株

## 10 緑化保存事業

### (1) 保存樹林地

種 別	件数(件)	筆数(筆)	面積(m <sup>2</sup> )
宅地介在山林	4	6	2,300.00
一般山林	2	3	669.00
合計	6	9	2,969.00

### (2) 保存樹木

件 数	本 数
40件	175本

### (3) 保存生垣

件 数	箇所数	延 長
145件	158箇所	3,109m

### (4) 害虫等駆除事業

実施期間 平成27年7月から平成28年3月まで

箇所数 1箇所

本数 33本